

研究の紹介

九州地域における春まきソバ「春のいぶき」の栽培マニュアル

(研究成果情報) <http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2013/13-061.html>

【研究の背景】

夏はざる蕎麦が美味しい季節です。しかし、夏に食べる蕎麦は前年の秋に収穫したものです。最近、春にソバを播種して初夏に収穫する専用品種「春のいぶき」が育成されました(表1)。「春のいぶき」は生育期間が60日と短く、九州では4月上旬に播種して6月中旬に収穫できます。「春のいぶき」によって、夏に新鮮で香りの高い蕎麦を賞味できるようになりました(写真1)。しかし、ソバの春まき栽培は新しい栽培法なので、播種や収穫の適期の判定、施肥方法など栽培技術がまだ十分に普及していません。そこで、「春のいぶき」を用いた春まき栽培を分かり易く説明した栽培マニュアルを作成しました。

【栽培指針の内容】

春まき栽培は早春に霜の心配がない温暖な地域に適しています。鹿児島県では3月上中旬、佐賀県では4月上旬に播種できます。九州では、4月8日前

後が播種適期になります(表2)。播種晩限は4月中旬です。施肥量は秋栽培より多く、10a当たり三要素で各6kgです。野菜作後などは残効を考慮して施肥量を決めます。播種時期は低温なので秋栽培より多めに播種します。出芽から開花までの日数は気温が高いと早くなります。開花から成熟までの日数は秋栽培に比較して非常に早く、30日程度で成熟します。収穫適期は種子の黒化率8割(ソバ畑全体の種子が8割黒くなった比率)になったときです。黒化率8割程度で収穫したソバは種子の充実が良く、製麺したときに緑色が濃くて味も良好です。

【栽培指針の利用方法】

この「栽培マニュアル」は営農指導員や生産者に配布しています。また、インターネット(http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/karc/054650.html)でも閲覧できます。

【作物開発・利用研究領域 手塚 隆久】



写真1 「春のいぶき」の淡い緑色の新蕎麦

表1 「春のいぶき」の特性

特性	春のいぶき	キタワセソバ	阿蘇在来
開花期	5月17日	5月16日	5月20日
成熟期	6月15日	6月12日	未成熟
草丈(cm)	88	77	155
子実重(kg/a)	27.8	22.7	1.9
穂発芽(%)	30	65	0

4月14日播種、穂発芽は過熟状態で調査

表2 播種時期の設定

地域	晩霜平均	晩霜限界	播種早限 (晩霜限界)	播種早限 (晩霜平均)
福岡市	3月12日	4月10日	4月1日	3月2日
佐賀市	3月31日	4月18日	4月8日	3月21日
大分市	3月23日	4月13日	4月3日	3月13日
熊本市	4月3日	4月13日	4月3日	3月24日
宮崎市	3月21日	4月10日	4月1日	3月11日
鹿児島市	3月7日	4月1日	3月22日	2月26日

1974-1993年の20年間の降霜データから作成
播種早限は出芽に10日を要するとして計算